

総務 常任委員会

3月10日

【委員会メンバー】 太田吉浩委員長、丸野健一郎副委員長、
山室昭憲委員、今村輝宏委員、(荒牧議長も出席)
【所 管 課】 総務課、議会事務局、政策企画課、復興推進課、
産業観光課、税務課、会計課

委員会での主な審議内容

地方債の推移は

〈山室委員〉

震災前の起債残高は110億程度だったが、災害復旧を含めずに起債が50～60億も増えた。予算規模も未だ倍以上を計上しているが、財政は大丈夫か。

〈総務課長補佐〉

大変厳しい。

旧立野小風力発電の収支は

〈丸野副委員長〉

旧立野小の風力発電は売電収入が48万円あるが、全量売電なのか。

〈政策企画課長補佐〉

現時点では、全量売電している。将来的には蓄電も検討したい。保守管理業務委託に年間20万円。



長陽保健センター改修は

〈丸野副委員長〉

長陽保健センターの改修内容は。先日説明を受けた専門学校関連か。

〈復興推進課主幹〉

下野山田の応急仮設住宅を2棟4戸移築し、教室として使用する。

乗り合いタクシーの収支は

〈荒牧議長〉

運賃収入は180万円、何名ぐらい利用者がいるのか。

〈産業観光課長〉

運賃は1ルート片道300円×月450名×12カ月で試算した。

〈荒牧議長〉

運行経費が2600万円掛かっている。月450名の利用者数はどうなのか。

〈産業観光課長〉

実証実験当初から3倍の利用者数。来年度は5年に一度のシステム更新費用が大きかった。今後は名称変更も含め、改善を図り、利用者数を増やしたい。

みなみあそ観光局への補助金は

〈太田委員長〉

観光局への補助金は、また自主財源はあるのか。

〈産業観光課長〉

自主財源はない。現在、熊本DMCに委託している「ふるさと納税の事務費」の観光局移行を検討中。

〈太田委員長〉

観光局に関するお金の流れが分かりづらいので、改めて詳細な説明を。

その他の質問や説明

〈政策企画課〉

- ・みなし過疎の要件と今後の動向
- ・グリーンピア南阿蘇、譲渡交渉の進捗

〈太田委員長〉

- ・長陽保健センターに入る計画の専門学校、地元説明会と申請の状況は
- ・あそ望の郷、施設改修工事の内容は
- ・3セクの随契延長10年その根拠は



あそ望の郷東側拡張予定地

〈山室委員〉

- ・あそ望の郷拡張計画、用地取得交渉の進捗は
- ・地域おこし協力隊の活動費、その内容と財源は
- ・村内観光施設の多言語翻訳機、設置状況は
- ・3セクの指定管理料、各施設の配分は再考を

〈今村委員〉

- ・高野台防災公園、備蓄内容は
- ・中小企業利子補給の利用状況は

委員長報告

(委員長以外の委員による) 表決の結果、全員賛成で、当委員会に付託された予算案等は、原案通り可決すべきと決定した。